

基本のキから学ぶ 職場のコンプライアンス 解説書

労働契約

労働契約は、会社と従業員が相互に理解し、信頼に基づいて業務を進めるための基本となるものです。入社時に交付される労働条件通知書や、会社の就業規則には、働くうえで必要なルールや待遇が明確に定められています。従業員は、労働契約を遵守し、ルールに従って職務を遂行する責任があります。一方、会社側も従業員が安全かつ健康に働ける環境を提供する義務があります。お互いが権利と義務を理解し合い、健全な労使関係を築きましょう。

ハラスメント

職場のハラスメントは、言動によって相手に精神的・身体的な苦痛を与え、職場環境を悪化させる行為全般を指します。パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント、マタニティハラスメントなどが代表的な例です。ハラスメントは個人の尊厳を傷つけるだけでなく、職場の秩序や生産性にも深刻な影響を与えるコンプライアンス違反です。お互いの違いを認め、誰もが尊重される職場を築いていきましょう。

情報漏洩

企業が保有する顧客情報、技術情報、そして従業員の個人情報、会社にとって重要な情報資産であり、厳重な管理が求められます。情報漏洩は、データの持ち出しや紛失、不用意なSNSへの投稿、公共の場所(エレベーター、電車、居酒屋など)での機密情報に関する会話など、様々な場面で発生する可能性があり、これらの行為は会社の信用失墜や、多額の損害賠償につながるリスクがあります。一人ひとりが情報管理の意識を持つことが大切です。

プライベートな場での行動

プライベートな場での行動も、会社のコンプライアンスと無関係ではありません。特にSNSでの発言や、公共の場での不適切な言動は、意図しない形で拡散し、所属企業が特定されることで、会社の信用やブランドイメージに影響を与える可能性があります。勤務時間外であっても、企業の一員として見られる場面があることを意識し、社会人として責任ある行動を心がけることが大切です。

基本のキから学ぶ 職場のコンプライアンス ワークシート

1.労働契約によって会社と従業員に相互に課される義務として、最も適切なものを選びましょう。

A | 誠実義務

B | 売上目標

C | 就業規則

D | 健康診断

2.パワーハラスメントが成立するための要件として、最も適切なものを選びましょう。

A | 勤続年数が長い人物

B | 過去に社内表彰を受けたことがある人物

C | 職場内で優越的な立場にある人物

D | 自分の仕事に不満を持っている人物

3.情報漏洩が発生した際に会社が直面しうる経営上のリスクとして、最も適切なものを選びましょう。

A | 残業時間の増加

B | 損害の賠償

C | 社内処分の検討

D | 職場の人間関係の悪化

4.個人のSNSで自社製品を紹介する際、会社関係者であることや広告であることを隠して宣伝する行為は何でしょう。

A | 内部通報

B | デジタルタトゥー

C | ステルスマーケティング

D | ポップアップ広告

基本のキから学ぶ 職場のコンプライアンス ワークシート(回答)

1.労働契約によって会社と従業員に相互に課される義務として、最も適切なものを選びましょう。

A | 誠実義務

2.パワーハラスメントが成立するための要件として、最も適切なものを選びましょう。

C | 職場内で優越的な立場にある人物

3.情報漏洩が発生した際に会社が直面しうる経営上のリスクとして、最も適切なものを選びましょう。

B | 損害の賠償

4.個人のSNSで自社製品を紹介する際、会社関係者であることや広告であることを隠して宣伝する行為は何でしょう。

C | ステルスマーケティング